



地域に根差して51年 since 1969

Hatta Medical News

2021年5月号



新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まります～part 2

今年は桜が綺麗でしたね。これから多くの花が咲き、コロナで病んだ心を癒してくれそうです。

ようやく、新型コロナワクチン接種が開始されました。当院は、定期通院の方が優先なので、京都市のポータルサイトには公表していません。まずは、65歳以上の定期通院者で年齢や持病の重症度で当院なりの優先順位を決め、できるだけ多くの方に打てるよう接種体制を整えております。その詳細について一面に記載しましたので、しっかりと読んでおいてください。裏面には変異株の最新情報も記載しています。

コロナ禍すが、大変嬉しいニュースがあります。一郎先生が日本臨床内科医会の地域医療功労賞を受賞されました。詳細は裏面をご覧ください。

スタッフ便りは、看護師の小野寺さんです。禁煙外来にかけの思いを語ってられます。どうぞご期待ください！

前回に引き続き、新型コロナワクチンの話題です。いよいよ5月中旬以降に、今度こそ本当に、新型コロナワクチンの接種が始まります。このニュースレターを皆様にお渡しするところには、院長はじめ当院スタッフが1回目のワクチン接種を終了しています。65歳以上の方には、すでに接種券や予診票が届いているはずですが、75歳以上の方には、ワクチン接種を行っている医療機関や集団接種の情報、予約方法などの資料も郵送されたことでしょうか。65歳から74歳の皆さんへの集団接種などの情報は、5/10の週に送られることになっています。4月中旬ごろから、外来の際に65歳以上の方にワクチン接種の意思を確認していますが、ほとんどの方は「受けます」とおっしゃいます。できるだけ多くの方に一日も早く接種したいのですが、当院へ通院中の65歳以上の方は約800名いらっしゃいます。どうしても、新型コロナに感染した際重症化することがわかっている疾患を複数持っている人から、接種していかざるを得ません。接種が遅くなりそうな方に、外来中に事情を説明すると、皆さん理解を示し「大丈夫、自分の番になるまで我慢して、家にいて待っているから」とおっしゃってください。5月末には集団接種が始まることになっていますが、ほとんどの方は、「待ってもいいから」と当院での接種を希望されます。それに、集団接種も、他の自治体のように狭き門かもしれませんね。定期診察に来られた時に、あなたの接種がいつ頃になりそうか、目安をお伝えしますので、電話での問い合わせはくれぐれもご遠慮ください。

また、次回受診時には、郵送されてきた書類（接種券や予診票など）を持ってきていただくと、スムーズに予約が進むので助かります。ご協力、よろしくお願い致します。

ワクチンの副反応についても、いろいろわかってきました。多く見られる副反応は、接種部位の疼痛（9割）、発熱、頭痛、倦怠感などです。これらは、抗体を作るために生じる正常な反応で、いわゆる「薬の副作用」とは全く違います。1回目より2回目の方が、明らかに反応が強く発生頻度もあがります。免疫力が強い若い人ほど副反応が強く、高齢者の副反応は軽いといわれています。また、ファイザーのワクチンには化粧品に使用されている「ポリエチレングリコール」という物質が使われていて、化粧品かぶれがある人は、アナフィラキシーショックを起こすリスクが高くなります。そのため、世界的に見て、ファイザーのワクチンでアナフィラキシーを起こしたのは94%が女性です。化粧品かぶれが強い方や、多数の薬に対するアレルギーのある方は、念のため大きな医療機関で接種することをお勧めします。



5/6/7月休診

7/24(土)医院休診

国民の祝日

7/22(海の日)

7/23(スポーツの日)

変異株について



pixta.jp - 73460176

ウイルスは、人間の体内で常に変化していきます。それが変異株といわれるものです。日本に初めて上陸した新型コロナウイルスと、現在流行している変異株は、性格が少し異なっています。関西はイギリス型の変異株に置き換わってしま

いました。感染力がより強く（1.3～1.7倍）、重症化しやすい、重症化までの時間が短い、重症化したら回復が非常に遅い、という特徴があります。また、以前の株では感染しにくかった子供や若者にも、イギリス型変異株は感染しやすくなっています。ファイザーのワクチンは、イギリス型には効果が認められますが、他にも南アフリカ型やブラジル型、アメリカ型（ウエストコースト型）など様々な変異株があり、一部の變異株ではワクチンが効きにくい可能性があります。

一郎先生 地域医療功労賞受賞！



コロナ禍ですが、大変めでたいニュースがあります！一郎先生が、日本臨床内科医会の地域医療功労賞を受賞されました。この賞は永年に亘り、地域医療に貢献された方に送られるもので、今年是全国で15名の医師が受賞されています。その中で受賞されたのは大

変名譽なことで八田内科医院にとっても大変嬉しいニュースでした。1969年にこの修学院で八田内科医院を開業し50年以上に亘り、地域医療に心身ともに捧げられ、本当に立派なお仕事をされてきました。本当ならお祝いのパーティをしたいところです。早速「皆のお陰や」とスタッフ全員に「内祝いや」と美味しいプリンを振舞っておられました。いやー、一郎先生らしいですね（笑）



立派な盾と表彰状を頂きました。おめでとうございます！

スタッフ紹介 看護師 小野寺晶子さん



こんにちは。看護師の小野寺です。今回入院で行っている禁煙外来について少しお話をさせて下さい。

2010年より始まった禁煙外来、これまでたくさんの方が受診されました。

自ら強い意志を持って望まれる方や先生やご家族など周りの方に勧められて始められる方、様々です。

そして最初から順調に禁煙できる方、少しずつ減煙して成功される方、2回チャレンジして達成される方など経過も様々ですが、禁煙外来最終日に多く聞かれるのは「思っていたよりも楽にできました」という言葉です。

今このコロナ禍で本当は“禁煙したい”と思っておられる方もいらっしゃるのではないかと思います。

タバコは様々な病気の危険因子です。喫煙されている方でも本当は体に悪いと思っておられ健康でいたいと思っておられる方も多いと思います。

禁煙達成された方々から多くのメッセージを頂いています。多くの方が体調の変化を感じられ禁煙して本当に良かったとおっしゃって下さいます。そして喫煙されている方々に是非禁煙を！と勧めてくださることはとても嬉しいことです。

禁煙しよう、やってみようという決心され来院された方が笑顔で卒煙できますよう、そして健康な生活を送って頂けるよう3か月間一緒に頑張っていきたいと思っています。今悩んでおられる方、ご家族のことで何かございましたらお気軽にお声かけ下さい。（*^*）

